

平成28年度 活動報告書

Annual Report 2016.4 ~ 2017.3



認定NPO法人 地球市民の会



Accountability Self-Check 2012



事業報告	P.1~9
決算報告	P.10~23
事業計画	P.24~26
予算	P.27~28
役員・理事リスト	P.29~30
変遷・組織図	P.31

平成28年度 地球市民の会の活動の総括

理事長挨拶

一粒の麦…。

聖書の中に、こんな言葉があります。

”一粒の麦、もし地に落ちて死なば多くの実を結ぶことなし。”

地球市民の会は、34年前の九州・佐賀の地に、故古賀武夫会長が、国際交流と国際協力、そして、地球の平和を民間の立場から希求して活動して行くことを誓い、設立した会であります。彼は、その求めた活動の中で「地球市民運動」「地球共感教育」等を創り、いつも口癖は、
”明るく楽しく元気よく！！””やってみらんと分からんだろうが…。あんまり深こう考えるナ！！やるばい！！”
でした。これらは、彼が残した地球市民運動の基本姿勢だったのだと思います。

この三十有余年で時代は大きく動いて来ました。日本も地球もドンドン変化していきます。九州・佐賀にも幅広く強く元気なネットワークができています。そして、更に拡大していきます。今、それらを観る時に、故古賀武夫会長は、確かに”一粒の麦”であったのだと思われます。会員の皆様、地球市民の会と共にあられることに心より感謝申し上げます。



特定非営利活動法人地球市民の会 理事長 山口 久臣

活動方針の振り返り

地球市民“5000人”の輪キャンペーン

～地球市民の会の事業に関わる方々の輪を広げる活動を行っていきます～

国際交流事業、講演会、地域でのイベントへの参加やボランティア、延べ5671人の方々に関わりをいただきました。長く、会を支えていただいている方にも参加いただき、また、新しく会のことを知って、活動に参加してくれた方も全体の3割でした。目標の5000人を超えることができ、より一層、地球市民の輪が広がった年となりました。

重点項目の振り返り

① 国際交流を通して地球市民の輪を広げました

スリランカ、ミャンマー、中国・韓国からの3つの招聘事業がありました。また、国際交流のイベントにも積極的に参画しました。そのイベントには、地元の大学生や社会人にもボランティアとして運営に関わってもらい、会の活動を支えてもらいました。交流事業やイベントを通して1386人の方にボランティアやホストファミリー、参加者として関わってもらいました。

② 新たな寄付の仕組みの構築を行いました

新しい寄付の形として、「ふるさと納税」を活用しました。佐賀県は全国に先駆けて、NPOを指定したふるさと納税ができる仕組みになっています。佐賀県内でも20以上の団体が取り組んでいます。具体的には、佐賀県を通して地球市民の会を指定して寄付していただいた方にお礼として、佐賀の特産物を送っています。これまで、関わりがなかった全国の方々からも、ふるさと納税を通して寄付をいただき、地球市民の会を知るきっかけづくりができました。

③ 成果を意識して、事業の「見える化」を行いました

主にフェイスブックでの情報発信に取り組みました。事業の報告だけでなく、事業を通して地域がどのようなようになったのかなど成果を意識した発信を行いました。また、会員の方々との交流の様子やボランティアに来てくれた方の紹介なども行いました。会のフェイスブックページも年度当初は「1200いいね」もなかったのが、年度末には目標の「1700いいね」を超えることができました。年間を通して500人以上の方々に情報を新しく届けることができました。

平成28年度直接事業費明細

事業	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲、人数	支出額(千円)
国内事業	中山間地域づくり事業	通年	佐賀市富士町 吉野ヶ里町	2人	佐賀市富士町、吉野ヶ里町、協力者延べ320名	860
	夏休みキャンプ(ふるさとステイ)	7月～8月	佐賀市富士町関屋、 三瀬中鶴	2人	佐賀県、福岡県小学生 123名 富士町/三瀬協力者 15名	802
	雪国ふるさとステイ	12月	福井県	2人	佐賀県、福岡県小学生 8名	640
	日中韓大学生交流事業 TOMODACHI100	1月	佐賀県内各所	2人	中国人大学生8名、韓国人大学生19名、協力者195名(日本人学生も含む)	1,408
	委託事業	通年	佐賀市内	2人	参加者 延べ150名	456
	ふるさと納税	通年	全国	2人	寄付者 164名 協力業者 7社	2,243
	その他(絆伝心、物販、業務委託、講師派遣事業)	通年	佐賀県内各所	2人	関係者 400名 聴衆者 2500名	619
	小計					7,028
緊急支援事業	平成28年熊本地震支援事業	通年	熊本県内、佐賀市内	2人	被災者 128名 協力者 554名 ボランティア971名	2,398
奨学金事業	奨学金支給	通年	タイ：ノンハーン校・大学生 スリランカ：サンガミッタ女子校 ミャンマー：タンポジ青少年育成センター・ シャン州ホッポン・シーサイン・ピンラウンタウンシップ	5人	タイ受給生 12名 スリランカ受給生 30名 ミャンマー受給生 88名	3,030
	スリランカ高校生招へい事業	8月	佐賀市、伊万里市、武雄市	1人	スリランカ高校生6人 引率教師2人 日本人ボランティア10人	1,095
	タイ事業(奨学金・新規事業調査)	1～2月	タイ国内	3人	タイ関係者10人	205
	その他(ばーん・たわん)	通年	佐賀市、鳥栖市	1人	購入者100人	30
	小計					4,360
ミャンマー事業	農業支援(循環型農業の農家組合強化)	通年	シャン州、タウンジー郡、セレー、ナウンカ、ハムシー地区	10人	対象地域の有機農産物生産者組合28名	1,004
	シーサイン農業環境及び水環境整備事業(1年目) (外務省NGO連携無償資金事業)	～8月	シャン州、シーサイン郡	10人	対象地域の住民約15,500名	65,131
	シーサイン農業環境及び水環境整備事業(2年目) (外務省NGO連携無償資金事業)	9月～	シャン州、シーサイン郡	10人	対象地域の住民約200名、農地390エーカー	
	カンムーボワ保育園建設	10月～	シャン州、シーサイン郡、カンムーボワ村	6人	保育園に通う70名及び保護者	6,308
	カウンタヤン学校建設	6月～3月	シャン州、シーサイン郡、カウンタヤン村	6人	学校に通う45名及び保護者	
	ルエエー小学校建設	7月～2月	シャン州、ピンラウン郡、ルエエー村	6人	学校に通う51名及び保護者	
	ナウンサン小学校建設	10月～2月	シャン州、ホッポン郡、ナウンサン村	6人	学校に通う21名及び保護者	
	ワーヤン小学校建設	5月～	シャン州、ピンラウン郡、ワーヤン村	6人	学校に通う224名及び保護者	
	モリンガを活用した循環型農村づくり事業 (地球環境基金)	通年	シャン州、ホッポン郡	10人	地域住民と僧院学校の子供達合計約2,000名	2,361
	シーサインの水資源涵養コミュニティ林造成 ニャウンシュエのアグロフォレストリー事業 (みどりの募金)	通年	シャン州、シーサイン郡 ニャウンシュエ郡、ポーミヤ村、チャウタロン ゲー村	9人	シーサイン町住民約15,000名 ポーミヤ村住民約350名	186
	インレー湖における飲料水の水質改善事業 (ミャンマー春光懇話会)		シャン州、ニャウンシュエ郡、インレー湖	2人	対象地域の住民約15,000名	2,048
	ナウンカセンター改修 (ゆうちょ)	通年	シャン州、タウンジー県、ナウンカ村	6人	長期研修生10名と7日間研修生約60名	49
	物販	通年	佐賀市、能古島	1人	参加者のべ1000名	26
	その他(緊急支援等)	通年	チン州	6人	約1,275名	500
	小計					77,613

成果

オリーブの植樹を30本行い、3年間の事業で
合計100本植樹しました。

背景や活動内容

3年間で、地元の方のご協力により3ヶ所の耕作放棄地を再生することができました。地元の方々としても高齢化や人口流出により人の手が入らなくなり、荒廃していく田畑に大変危機感をもたれています。実際に耕作放棄地化した畑に、鳥獣が棲みついたり、土地の崩落などの原因になっています。その畑をオリーブのオーナーの方々と一緒に維持管理しています。オーナー制によるオリーブのモデル農園を小規模で作り、同じ悩みを持つ佐賀県において、地域モデルとし、将来的な地域内での更なる拡大および商品化を目指しています。

今回は、年間5回のイベントを組み、草刈りや土づくり、植樹などを行いました。また、活動後は地元の方より猪肉の提供をいただき、BBQなどを行いました。

延べ161人の方々に参加いただき、耕作地の維持管理ができています。

(助成団体:JT NPO助成事業)



ふるさとステイ

(中山間地域づくり事業・佐賀市)

成果

佐賀県内および福岡市内から小学生が123名参加しました。

背景や活動内容

2009年より佐賀市北部の山間部になる富士町・三瀬において地元の方々と協働で地域づくりを行ってきました。地元の方との協議で小学生を対象としたキャンプ事業立案に至り、今回で4回目の実施です。

日程として、三瀬中鶴集落では、7月28日(火)～7月30日(木)、富士町関屋集落では、8月1日(土)～8月4日(火)の期間で実施しました。参加した子どもたちはキャンプを通して、見知らぬ地で地元の人との交流を通すことで、世代を超えた人への関心を高め、今後も継続的に里山を訪れることや地元の人に会いに行くなどの絆づくりを期待して行っています。活動は、地元の方より落雁づくりや饅頭づくりを教えていただいたり、竹を使った魚釣り、川遊びなどを行ってきました。また、サポートで入ってくれた大学生も40名ほどのの方々に来ていただきました。



雪国ふるさとステイ

(中山間地域づくり事業・福井県)

成果

一般社団法人アイ・オー・イーとの協働事業により、
佐賀、福岡、熊本、大分の広範囲から募集をかける
ことができ、小中学生34名が参加しました。

背景や活動内容

こちらの事業は2015年度より始めており、今回で2度目の活動でした。

夏の農山漁村地域での体験活動だけでなく、冬にも子どもたちに体験を提供したいという思いから活動を行っています。

期日:平成28年12月23日(金)～27日(火) 4泊5日

活動地:福井県勝山市及び、福井市

期間中、雪国ふるさと学習、暮らし体験及び、自然体験活動プログラム(エコツアー&ネイチャーツアー、ネイチャープログラム、体験学習 等)、雪国ふるさと地域での自然体験活動・文化体験活動&交流活動&暮らし体験活動などを行いました。参加者は、県外の子ども同士のつながりをつくることができました。



成果
4回目の活動により、中国、韓国から佐賀を訪れた大学生が106名になり、目標の100名を超えることができました。

背景や活動内容
2012年夏の尖閣諸島をめぐる日中関係の悪化。「こんな時期だからこそ、同じアジアの一員として、交流を通してお互いを知り、TOMODACHIになることができないか」。そんな思いを込めて、同様に関係が悪化していた韓国を加えて2013年度から始まったのが、TOMODACHI100プロジェクトです。「TOMODACHIを100人つくりたい」と開催を重ね、今回の交流で目標人数を達成することができました。日程：2017年1月16日～23日の7泊8日



参加者／年度	中国人	韓国人	日本人	人数
2013年度	8人	7人	10人	25人
2014年度	19人	7人	15人	41人
2015年度	28人	10人	41人	79人
2016年度	8人	19人	26人	53人
計	63人	43人	92人	総計 198人

活動としては、中国・韓国の学生に茶道や華道などの日本文化体験をしてもらうだけでなく、佐賀の企業を訪問したり、佐賀県内の家庭にホームステイを行っています。また、日中韓の学生は寝食をともにしながら多くの時間を過ごし、お互いの文化を紹介したり、これからのアジアの問題を自分たちが協力して何ができるかを話し合ったりしました。ただの友達という関係を越え、交流後お互いが行き来し合える「心の家族」ともいえるべき関係性を築くことができました。
(助成団体：佐賀県国際交流協会)

成果
佐賀県内の30の団体がネットワークを組み、支援物資やボランティアの派遣を行いました。

背景や活動内容
2016年4月14日、16日に熊本を中心とした大地震が発生しました。その後、私たちは復興支援を目的に、佐賀県内のCSO(市民活動団体)を中心として、行政・企業とも連携・協働しながら、有志メンバーを30団体が集まり、活動を行ってきました。最初の活動として、支援物資を佐賀県内に呼びかけて熊本へ配送しました。主な支援物資はおむつ、生理用品、水、ブルーシートです。

支援物資提供者 554名

仕分けボランティア 113名

配送トラック11台、配送物資総量 約20t

4月17日、18日に呼び掛け、ご提供いただいた物資はすべて、4月21日までに被災地の方々にお渡ししました。また、その後は4月18日からボランティア派遣を開始しました。現地ニーズを整理しつつ、個々人が持っているスキルや経験値をリスト化してマッチング。県内外から集まったボランティアには一旦佐賀に集まってもらい、現地の様子や心構えなどの説明を行ってから現地へ派遣しました。

主な活動 避難所の運営補助、がれき撤去、イベント運営補助、農家等の家屋片付けなど

人材バンク登録者 186名(2017/3/15現在)

ボランティア派遣数 延べ約858名(2017/3/15現在)



成果

1990年に始めたタイ奨学金事業の終了を決定。27年間で3451人に奨学金を送ることができました。

背景や活動内容

当会は、タイ東北部において1990年から支給を続けてきた奨学金事業について、2017年度の支給を持って終了することを決めました。開始当初は、初等教育を受けることができる児童も少なかったですが、その後、タイでは義務教育が中学校まで拡大。さらには国の経済発展もあり、必ずしも奨学金がなくても学校に通えるようになったと判断しました。実際、2017年1月に現地を訪れ、現在支給するノンハーン校の奨学生8人にインタビューをしたところ、交通費や文房具代に奨学金を使っており、奨学金がなくては学校に通えない状況ではないことを確認。改めて「奨学金の役目は終わった」と判断しました。

これまで、クーキャオ校、ボーゲウ校、そしてノンハーン校の中学生・高校生に対し、形を変えながらも3451人もの生徒に奨学金を支給してきました。1月の調査では、「奨学金がなければ、私は先生にはなれなかった」と話す現在40歳の数学の先生のお話も聞くことができました。受給をきっかけに技能実習生として訪日した元奨学生のお話も聞くことができました。この27年間で、一定の成果を残すことができました。長年ご支援をいただき、ありがとうございました。ただ、タイは当会が国際協力へと足を踏み入れるきっかけとなった国。奨学金は終わるにしろ、何かしら別の形での支援・連携は続けていきたいと考えています。



スリランカ奨学生招へい事業

(奨学金・スリランカ)

成果

スリランカから奨学生など8人を佐賀に招へい。日本とスリランカをつなぐ人材育成に取り組みました。

背景や活動内容

2年に一回、スリランカの奨学生から佐賀に来てもらう招へい事業「カタランカ〜Cross Asia〜」を、昨年度も2016年8月に開き、引率2人を含む8人を佐賀にお招きすることができました。「日ス友好の架け橋となる人材育成」をテーマに、優秀な女子学生(支援先はゴール市の女子高校)を支援しておりますスリランカ・シショダ奨学金。各学年10人ずつの4学年を支援していますが、このうち、選抜された生徒6人を佐賀に招きました。生徒たちは、8月5日に日本に到着し、ホームステイ先と交流をしたり、地元の幼稚園を訪問したりなどしました。

伊万里市では、アスパラガスの収穫体験をしたのですが、スリランカでは大きなスーパーにしかアスパラを売っておらず、多くの生徒が食べるのも初体験！ 日本文化体験として、浴衣を着て佐賀市内を闊歩しました。最後は、スリランカフェスティバルと題し、現地のカレーを作ってもらってホストファミリーらにふるまいました。通信事情の良いスリランカでは、訪日した生徒たちと、今回受け入れてくださったホームステイ家族と、お互いの近況や地域のことを紹介合う手紙のやりとりも続いているようです。「国際的な広い視野を養ってほしい」「地域のことを大事にしてほしい」...この体験を通し、さらに日本とスリランカという国境を越え、さらなる友好的な関係を築くことができたのではないかと自負しています。

(助成団体:きょうぎん未来基金、佐賀市市民活動応援制度チカラット、佐賀銀行社会福祉基金、前川報恩会地域振興助成金)



成果

ミャンマー2つの奨学金を継続し、2016年度も高校生88人に学ぶ機会を提供しました。

背景や活動内容

高校の数が少なく、農村部に住む子どもたちが学校に通おうとするためには、寮生活が必要となり、経済的な理由から進学をあきらめてしまう子が多いミャンマー。同国では、タンボジ寮に住みながら学校に通う高校生を支援するタンボジ奨学金と、自宅から高校に通う生徒を支援する地球市民奨学金の2つを2016年度も継続し、タンボジ奨学金は2学年16人、地球市民奨学金は2学年72人を財政支援しました。

このうちタンボジ寮生たちは、朝早くから起きて有機農業を学ぶための農作業に従事。昼間は学校に通って夕方に帰宅してからも、農作業や家畜のお世話をし、夜遅くまで勉強に励みました。週末は、環境問題や地域開発について学んだり、石鹸づくりや折り紙の技術を習得したりと、多くのことを学んだ一年でした。2016年度の卒業生の大学進学状況は6月ごろに判明予定ですが、15年度はタンボジ寮卒業生8人のうち3人が大学に合格。2人は地元のタウンジー大学に進み、一人は政府国境省の運営する学費無料の大学に進学するなど、優秀な成績を収めています。

今年3月に卒業した生徒たちもどんな進路に進めるのか、楽しみです！ 有機農業を実践しながら、さらに塾に通わずに勉学に励むミャンマーの子どもたち。ぜひともさとおやになって、ご支援してあげてください！



ばーん・たわん事業

(奨学金・日本)

成果

物品寄付を通じ、20万円を奨学金へ。

子どもたちへ学ぶ機会提供のため寄付入り口を拡大します。

背景や活動内容

当会では、アジアの子どもたちへの奨学金を募る一つの資金調達方法として、物品寄付を募っています。その代表格が、チャリティショップ「ばーん・たわん」(タイ語で『太陽の家』)。多くの方に、古着を送っていただき、その中から商品として使えるきれいな商品に値段をつけ、質屋「ニューポーン」様の一角で販売。2016年度は10万6568円の売り上げがありました。そのほか、16年度はスリランカ招へい事業があった関係で8万3810円のご寄付をいただいたり、イベントでの物販でアジアの雑貨やミャンマーコーヒーなどをご購入いただいた関係で、計20万6608円の教育資金をいただくことができました。

これらの基金は、主にミャンマーの奨学金に充てる予定としています。ご寄付・ご購入いただいた皆様、ありがとうございました！

ただ、ばーん・たわんを始めた2010年度当時と比べ、売り上げは半分ほどに減ってしまっています。競合するファストファッション(流行を採りいれつつ、大量生産により低価格に抑えられた衣料品)の成長や、季節商品を陳列できていない今の体制にも課題があると考えています。

2017年度は、「モツタイナイ」を「マナビタイ」にテーマに、チャリティーショップのほかに、自宅に眠る貴金属品やカメラなどを寄付できるシステムもつくり、より多くの子どもたちが教育を受けられる環境を整えていきたいと思えます。本年度もご寄付やご購入をよろしくお願いします。



成果

3つの生産者グループを組織

参加農家の収入は1.5～2倍に増加しました。

背景や活動内容

事業地は、9割が農業従事者という農村部、ミャンマーでは農村部の貧困率は都市部に比べ2倍となっており、農業では食べていけず、タイへの出稼ぎへ行く者も増えています。農業収入が上がらない原因として、化学肥料の値上がり、中間業者による搾取、また農家自身が農業簿記等の知識がなく、収支計算ができていないことなど様々絡み合っています。

そこで、本事業は、農家のエンパワメントと、循環型農業により付加価値をつけた野菜を生産・販売することにより支出削減、収入向上を目指すことを目的とし、事業地の3つの地区において、以下の活動を行いました。

- 1) 農家の組織化と出荷体制の整備による収入向上: 3つのグループを組織、共同集荷の体制を整えヤンゴンに出荷。
- 2) 組合に向けての相互扶助体制の構築: 農業機械(トラクター)を共同購入、安価に皆が借用できるように。
- 3) 農民のエンパワメント: 農業経営セミナーを実施、簡単な農業簿記を学びました。またマイクロファイナンスを導入し、循環型農業の初期投資等に活用しています。

トラクターの使用料や、農産物売り上げの5%を基金としており、今後はグループメンバーによる組織の運営も続けていける見込みとなっており、今後の発展が楽しみです。

(助成団体: アジア生協協力基金)



農村部における飲料水の配水と生活向上

(開発・ミャンマー)

成果

15,500人が安全な飲料水にアクセスできるように

約1300名が循環型農業や保健衛生の知識を身につけることができました。

背景や活動内容

ミャンマーでは、7割が農業従事者ですが、農村部の貧困は都市部に比べ2倍と高く、その農業技術や生産性の低さ、農業灌漑設備の未整備等が大きな課題となっています。また、安全な水にアクセスできない割合も東南アジア諸国の中でも高く、特に乾季には水に起因する病気が増えたり、水汲みの負担が増え困っています。

事業地であるシーサイン・ピンラウン地域も、上記同様の問題を抱えており、2015年より3年間の事業を始めました。本事業の目的は、
・循環型農業の普及と灌漑設備の整備による農業生産性の向上
・飲料水の問題の解決による、農村の生活環境の改善
の2点です。

2016年度には2015年から建設していたシーサイン地域の飲料水の配水設備が完成しました。地域の住民の代表で「水管理委員会」も発足し、住民の意見で、水の使用や管理のルールも作られています。

また、農業研修には予定を大きく上回る1,261名が参加、循環型農業や農業簿記を身につけることができ、保健衛生研修では1,228名が参加してくれました。

シーサイン地域では、飲料水を配水して余った水を農業用水に利用するため、引き続き農業灌漑設備として、水タンク、配水路の整備を行っています。これにより、390エーカーの農地に十分な配水が行われる予定となっています。天水依存型で、雨季しか農業ができなかったのが、雨季乾季と通年の農業が可能になると、農家も楽しみにしています。

(助成団体: 外務省日本NGO連携無償資金協力)



成果

**小学校4校、保育園1舎の建設を行い、
411名のこどもたちの教育環境が整えられました。**

背景や活動内容

ミャンマーシャン州のホッポン、シーサイン、ピンラウンという3つの郡では、内紛の影響や地域の開発の遅れ等により、校舎の整備がなかなか進んでいません。老朽化した校舎は、学習・保育環境としては大変不十分で、こどもたちがけがをするなどの危険もあります。2016年度は、村から要望があり、緊急性の高い4校と保育園1舎を選定し、建設を行いました。同時に、各地域に学校建設委員会を組織。建設中のマネジメントから、建設後の維持管理を責任をもっておこなうよう体制づくりを行いました。

また、村のたくさんの住民が、「私たちの学校」のために労働奉仕に出てくれています。

各校の支援者のみなさまは以下のとおりです。

カンムーボワ保育園：八坂 信夫 様

ワーヤン小学校：御厨 初美 様

ナウンサン小学校：久居ライオンズクラブ 様

ルエー小学校：積水ハウスマッチングプログラム

カウンタヤン小学校：大阪コミュニティ財団「がっこう基金」



モリンガを活用した緑化と循環型農村づくり

(環境・ミャンマー)

成果

**住民と一緒に15,000本のモリンガの植林
モリンガの加工により、60,000チャットの緑化基金が
創出されました。**

背景や活動内容

ミャンマーは、森林減少率がアセアン諸国の中でもワースト3位となっており、当会活動地であるシャン州南部でも、炊事用等の薪の使用、開発のための伐採、焼畑等により、木が減少しています。しかし、住民にとっては生活にかかせない資源でもある木々のため、簡単に伐採をとめることができません。

私たちは、持続可能な環境を守るため、シャン州農村部の3つの地域で

「ミラクルツリー」として注目されるモリンガを活用した緑化活動を2015年度から開始しました。モリンガの葉や鞘は食用になるほか、種からはオイルを絞ることができるため、それらの加工・販売を通じた収入向上と、継続的な植林活動のための緑化基金の創出を行っています。

環境問題や木の役割について無知な場合も多いため、住民に向けた啓発活動も行っています。2016年度は、263名が研修に参加し、住民自ら674本の植林も行いました。地域住民の理解と活動の広がりを実感できています。

また、モリンガの加工品の品質向上のため、11月には日本においてマーケティング研修も行いました。モリンガティーを実際に試飲してもらったり、日本の高品質な商品を見たりしました。今後は、質の高いモリンガの加工品の製造と販売経路の確保が課題となるため、住民と協力し、頑張っていきたいと思っています。

(助成団体：地球環境基金)



成果
水源枯渇を防ぐためチークやモリングなど10,113本を植林しました。

背景や活動内容

ミャンマーシャン州のシーサイン郡に住む約3,000世帯は、湧き水を水源として飲料水・生活用水を確保してきました。しかし近年、水源周辺で木の伐採などが増え、水量が徐々に減少。地域住民が主体となり、この問題に取り組むことが必要でした。そこで、水源周辺に約1万本の植林を行ったほか、教材を作成し、子供達を対象に環境教育を実施しました。また、育苗・給水設備を整備し、今後も住民が主体となって環境教育・植林活動が継続できる体制を整えることができました。

(助成団体:国土緑化推進機構「緑の募金」)



循環型農業モデル化事業

(環境/ミャンマー)

成果
焼畑などで森林減少の3村に循環型農業を導入
モリング2,500本を植林しました。

背景や活動内容

シャン州ニャウンシュエにある3つの村では、焼畑農業や生活用の薪の伐採が原因で、森林面積が年々減少しています。住民たちは問題意識を持っているものの、解決方法が分からないためこれまで通りの生活を続けていました。そこで、これらの村に循環型農業の手法を導入し、地域に合った果実・種子を活用できる樹木の植林を行っています。これまでに、モリング2,500本の植林を実施。また、専門家を交え、循環型農業に関する研修等を行い、環境に対する住民の意識向上にも取り組んでいます。

(助成団体:国土緑化推進機構「緑の募金」)



インレー湖の飲料水・水質改善事業

(開発/ミャンマー)

成果
約15,000人に安全な水が届くようになりました。

背景や活動内容

インレー湖の水は水質悪化により飲料水・生活用水として使用できなくなり、周辺住民は当会が2014年に整備した給水施設の水に依存していました。しかしその水もカルシウム濃度が高かったため、ミャンマー春光懇話会の融資企業(日立アジア様、日立ソーエレクトリック&マシナリー様、日立エレベーター様、日立物流様、NIPPO様、損保ジャパン日本興亜様)よりUSD32,000の助成をいただき、軟水器を設置しました。これにより、3,000世帯の約15,000人が、安全な水を使用できるようになりました。

(助成団体:ミャンマー春光懇話会)



決 算 報 告 書

第 33期

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

特定非営利活動法人 地球市民の会

佐賀県佐賀市高木町 3－10

～地球市民の会の健康状態（貸借対照表から）～

● 安定した経営ができる状況に近づいています

昨年に続き、大型案件であるミャンマーの ODA（政府開発援助）事業の補助金が年度をまたいで続いているため、流動比率は非常に高い数値になっています。ミャンマーおよび国内にある現金預金はいずれも ODA（政府開発援助）事業が大きな額を占めており、国民の税金をお預かりしておりますのでしっかりと管理しています。

また、それ以外の仕掛中またはこれから仕掛かる事業の資金も 17 ページの財務諸表の注記の「5. 使途が制約されている寄付等の内訳」にあるように、管理されていますので事業は確実に実行できる状態にあります。

これら使途の決まっている資金を差し引いた手元の正味財産は 1249 万円あり、この金額は地球市民の会の 1 年分の固定経費の同等額で、経営状態は安定した状態にあると言えます。昨年度だけのトレンドでないことを見極め、新規事業の調査や、組織強化のための投資も考えなければなりません。

今年度は国際交流の拠点としてインターナショナル・ゲストハウスに出資し、筆頭出資者となりました。みなさまのご協力により、社会的投資（ソーシャル・インベストメント）をできる組織になりました。

～地球市民の会の昨年の通信簿（活動計算書から）～

● 助成金の対収入比率が下がりましたが、理想の形には、まだ遠いと言えます。

33 期（15 期）は地球市民の会過去最大の収入額となりました。大型案件を連続して受けることができるような組織に成長してきました。金額ではミャンマー事業がその多くを占めていますが、その他の事業もそれなりに安定してきつつあり、様々な分野での活動の成果に一定の評価をいただけるようになってきました。

寄付収入の比率が平成 24 年レベルとなりました。平成 24 年は東日本大震災の支援金が多く託されましたが、本年は熊本地震の支援金もあったとはいえ、私たちの事業に対する支援を頂くためにふるさと納税による寄付の額が増えたことが要因となっています。その意味では、平成 24 年とは性格が違います。私たちの事業に多くの方の共感を頂戴できたものと喜ぶとともに、しっかりとそのご期待に応え、社会的成果（ソーシャル・インパクト）を出していかなければならないという責務に襟を正すところです。

助成金の対収入比率が下がったとはいえ、助成金額の大きいミャンマー事業に依存する状況であることは否定できず、ミャンマー事業に変る新しい事業の開発は十分になされておらず、この部分が課題であり、理想のあるべき姿と乖離している点です。本年度は上記にありましたように熊本地震支援事業に注力したため新規事業はなされておらず、従来の事業を引き続き実施したのみだったのが理由ではありますが、自主事業収入の開発が課題でもあることは従来通りです。

事業別活動計算書では、タイの奨学金事業を終えたため「タイ・スリランカ奨学金事業」の単体としての赤字が大きく出てしまいました。年度末にはタイへの調査や新規事業の立案が検討されていますので、次年度には単年度での黒字を目指したいと考えています。

参考資料～収入バランスのチェック～

収入比率と推移は以下の通りです。

	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	理想①
会費・寄付収入	29%	12%	13%	11%	26%	40%
委託金・助成金収入	57%	81%	80%	82%	70%	40%
自主事業収入	14%	7%	7%	7%	4%	20%
総収入金額	53,862,736	110,352,912	84,568,763	110,647,830	122,022,021	1 億円

貸 借 対 照 表

特定非営利活動法人 地球市民の会

[税込](単位:円)
平成29年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	860,864
現 金	109,057	前 受 金	48,000
普通 預金	37,235,149	シヨダヤ前受金	240,000
現金・預金 計	37,344,206	タノボジ前受金	322,506
(売上債権)		タイ高校新前受金	12,000
未 収 金	172,800	タイ大学新前受金	12,000
売上債権 計	172,800	ミャンマー地球市民前受金	648,000
(その他流動資産)		預 り 金	239,429
ミャンマー未使用資金	48,217,280	仮 受 金	95,037
その他流動資産 計	48,217,280	流動負債 計	2,477,836
流動資産合計	85,734,286	負債合計	2,477,836
【固定資産】		正 味 財 産 の 部	
出 資 金	2,000,000	【正味財産】	
固定資産合計	2,000,000	前期繰越正味財産額	44,762,685
		当期正味財産増減額	40,493,765
		正味財産 計	85,256,450
		正味財産合計	85,256,450
資産合計	87,734,286	負債及び正味財産合計	87,734,286

財 産 目 録

特定非営利活動法人地球市民の会

平成29年(2017年) 3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金 預金	37,344,206	未払金	860,864
現金 現金手許有高	109,057	レンタルサーバ代 3月分	1,620
普通預金	37,235,149	社会保険料 3月分 法人負担分	104,587
佐賀銀行本店営業部 1506171	8,535,238	3月分電話負担分	3,375
佐賀銀行本店営業部 2675887	6,434,996	給与	550,000
佐賀銀行本店営業部 3007858	1,500,004	別納郵便 日本郵便株式会社	29,944
佐賀銀行本店営業部 N連 3078142	17,232,365	ふるさと納税返礼品	166,338
佐賀銀行本店営業部 N連 3097093	109,100	団体会員費	5,000
佐賀共栄銀行本店営業部 02486293	1,488,353	前受金	1,282,506
三井住友銀行 0362355	50,156	会費前受金	48,000
郵便貯金会計	107,851	奨学金前受金	1,234,506
郵便振替	1,777,086	預り金	239,429
未収金	172,800	理事慶弔費	55,502
ワークショップ受入費用	172,800	社会保険料	103,147
ミャンマー事業未使用資金	48,217,280	源泉所得税	61,280
流動資産合計	85,734,286	市県民税	19,500
2. 固定資産		仮受金	95,037
出資金	2,000,000	ミャンマーコーヒー豆代	83,900
固定資産合計	2,000,000	ミャンマーモニタリング費用	11,137
資産合計	87,734,286	流動負債合計	2,477,836
		負債合計	2,477,836
		正味財産	85,256,450
		負債及び正味財産合計	87,734,286

活動計算書

[税込](単位:円)

特定非営利活動法人 地球市民の会

自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	2,260,000		
その他の受取会費	1,017,000	3,277,000	
【受取寄附金】			
本部寄附金収入	1,777,195		
国内寄附金収入	6,511,400		
奨学金寄附金収入	4,252,894		
タイ・スリランカ寄附金収入	1,102,691		
ミャンマー寄附金収入	12,454,056		
震災寄附金収入	2,392,339	28,490,575	
【受取助成金】			
国内助成金収入	1,872,385		
タイ・スリランカ助成金収入	400,000		
ミャンマー助成金収入	80,259,427	82,531,812	
【受取委託金】			
国内委託金収入		2,445,404	
【事業収入】			
国内事業収入	4,450,308		
タイ・スリランカ事業収入	134,008		
ミャンマー事業収入	681,644		
震災事業収入	6,700	5,272,660	
【その他収入】			
受取 利息	311		
雑 収 益	4,259	4,570	
経常収益 計			122,022,021
【経常費用】			
【事業費】			
(直接事業費)	91,401,429		
(人件費)			
給料 手当(事業)	12,130,774		
法定福利費(事業)	1,250,667		
人件費計	13,381,441		
(その他経費)			
為替 差損	9,761		
その他経費計	1,634,984		
事業費 計		106,417,854	
【管理費】			
(人件費)			
給料 手当	3,218,493		
役員 報酬	1,200,000		
法定福利費	349,654		
福利厚生費	204,928		
人件費計	4,973,075		
(その他経費)			
その他経費計	1,265,403		
管理費 計		6,238,478	
経常費用 計			112,656,332
当期経常増減額			9,365,689
【経常外収益】			
ミャンマー未使用資金戻入益	48,217,280		
経常外収益 計			48,217,280
【経常外費用】			
ミャンマー未使用資金繰入損	17,089,204		
経常外費用 計			17,089,204
税引前当期正味財産増減額			40,493,765
当期正味財産増減額			40,493,765
前期繰越正味財産額			44,762,685
次期繰越正味財産額			85,256,450

事業別活動計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

	国内事業	ミャンマー事業	タイ・スリランカ 奨学金等	熊本震災 支援事業	本部管理 部門	計
I 経常収益						
1. 会費収入					3,277,000	3,277,000
2. 寄付収入	6,511,400	12,454,056	5,355,585	2,392,339	1,777,195	28,490,575
3. 助成金収入	1,872,385	80,259,427	400,000			82,531,812
4. 委託金収入	2,445,404					2,445,404
5. 事業収入	4,450,308	681,644	134,008	6,700		5,272,660
6. その他収入					4,570	4,570
経常収益計	15,279,497	93,395,127	5,889,593	2,399,039	5,058,765	122,022,021
II 経常費用						0
1. 直接事業費	7,028,325	77,613,757	4,360,808	2,398,539		91,401,429
2. 人件費	2,797,148	8,132,861	2,451,432	0	4,973,075	18,354,516
役員報酬					1,200,000	1,200,000
給与手当	2,422,000	7,572,000	2,136,774		3,218,493	15,349,267
法定福利費	375,148	560,861	314,658		349,654	1,600,321
福利厚生費					204,928	204,928
3. その他の経費	554,874	584,508	485,341	500	1,275,164	2,900,387
旅費交通費					109,253	109,253
通信運搬費	79,244	83,476	69,314		101,205	333,239
消耗品費					197,956	197,956
印刷製本費	96,942	102,120	84,794		123,807	407,663
研修費					28,500	28,500
水道光熱費	50,498	53,195	44,170		64,491	212,354
賃借料	57,072	60,120	49,920		72,888	240,000
保険料					49,470	49,470
租税公課					47,400	47,400
地代・家賃	185,484	195,390	162,240		236,886	780,000
支払手数料	85,634	90,207	74,903	500	108,865	360,109
会議費					22,841	22,841
諸会費					97,000	97,000
支払利息					432	432
雑費					4,409	4,409
為替差損					9,761	9,761
経常支出計	10,380,347	86,331,126	7,297,581	2,399,039	6,248,239	112,656,332
経常収支差額	4,899,150	7,064,001	-1,407,988	0	-1,189,474	9,365,689

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は現有しておりませんので減価償却はなされておりません。所有した際は法人税法の規定に基づいて定率法で償却をします。無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をします。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(3) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(4) 消費税等の会計処理

税込経理方式によって行います。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は添付別紙資料の通りです。

今年度は熊本震災支援事業があります。

3. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

施設の提供等の物的サービスの受入れの状況は以下の通りです。

内 容	金 額	算 定 根 拠
支援酒米輸送代	194,400	㈱トワード様より 岩手県⇒佐賀県みやき町 40 袋
支援酒ラベル和紙代	36,000	山下雄司様より

4. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減はありません。

5. 借入金の増減内訳

借入金の増減はありません。

6. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引はありません。

7. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

内 容	金 額	算 定 根 拠
事務作業 補佐 延 168 名 合計 424.5 時間	294,603	単価は佐賀県の最低賃金/時給 694 円) によっています。事務補佐の内訳は当会事務局に別途設置されているボランティアサポート台帳にあります。
キャンプ事業 補佐 延 42 名 合計 336 時間	233,184	
ミャンマー事業 補佐 延 22 名 合計 124 時間	86,056	
イベント 補佐 延 263 名 合計 789 時間	547,566	
TOMODACHI100 補佐 延 195 名 合計 975 時間	676,650	
スリランカ招へい事業 補佐 延 70 名 合計 350 時間	242,900	
合 計	2,080,959	

8. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の次期繰越正味財産額は 85,256,450 円ですが、そのうち 72,762,408 円は下記事業に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は 12,494,042 円です。ミャンマー未使用資金は保有する US ドル、ミャンマーチャットの 3 月 31 日に最も近い日の為替レートで計上しています。

内 容	期末残高	備 考
奨学金	480,000	タイ・ミャンマー・スリランカ前受金
アジア教育基金	720,052	ばーん・たわん売上・教育基金寄付
国際交流事業立案資金	1,000,000	かめのり財団
ミャンマー環境保全事業	4,047,711	地球環境基金、国土緑化推進機構
ミャンマー学校建設資金	1,065,000	学校建設指定寄付
シャン州山岳少数民族地域における農業環境及び水環境整備による生活改善事業	17,232,365	2016 年度外務省日本 NGO 連携無償資金協力
ミャンマー未使用資金	48,217,280	ミャンマーに送付済みの事業資金の現地有り高
合 計	72,762,408	

特定非営利活動法人地球市民の会

前年対比貸借対照表

平成29年(2017年)3月31日現在

単位:円

資産の部			負債の部		
科目	前期残高	当期残高	科目	前期残高	当期残高
現金	53,878	109,057	未払金	730,588	860,864
小口現金	70,609	0	前受金	0	48,000
普通預金	27,297,144	35,350,212	シヨダヤ奨学金前受金	264,000	240,000
郵便貯金	0	107,851	タノボジ奨学金前受金	432,000	322,506
郵便振替	2,382,150	1,777,086	タイ高校新前受金	48,000	12,000
現金預金合計	29,803,781	37,344,206	タイ大学新前受金	24,000	12,000
未収金	145,240	172,800	ミャンマー地球市民奨学金	288,000	648,000
立替金	12,774	0	預り金	444,803	239,429
ミャンマー未使用資金	17,089,204	48,217,280	仮受金	56,923	95,037
流動資産合計	47,050,999	85,734,286	流動負債合計	2,288,314	2,477,836
出資金	0	2,000,000	固定負債合計	0	0
固定資産合計	0	2,000,000	負債合計	2,288,314	2,477,836
資産合計	47,050,999	87,734,286	正味財産	44,762,685	85,256,450
資産合計	47,050,999	87,734,286	負債・正味財産	47,050,999	87,734,286

特定非営利活動法人地球市民の会

平成28年(2016年)度 予算決算対比活動計算書

自 平成28年4月1日 至平成29年3月31日

【経常収入の部】	27年度決算	28年度予算	28年度決算	【経常支出の部】	27年度決算	28年度予算	28年度決算
本部収入	4,069,163	5,650,000	5,058,765	本部管理費	5,577,418	6,441,600	6,248,239
会費収入	3,174,000	3,300,000	3,277,000	直接事業費	0	1,000,000	
寄附金収入	893,379	2,200,000	1,777,195	人件費	3,264,525	5,441,600	4,973,075
その他収入	1,784	50,000	4,570	その他管理費	2,312,893		1,275,164
事業収入		100,000	0	収支計	-1,508,255	3,100,000	-1,189,474
国内事業収入	12,229,316	13,588,460	15,279,497	国内事業費	11,155,451	13,481,860	10,380,347
寄附金収入	424,250	3,500,000	6,511,400	直接事業費	7,662,081	8,723,460	7,028,325
補助金・助成金等収入	2,059,963	1,488,460	1,872,385	人件費	2,854,494	3,758,400	2,797,148
委託金収入	3,589,418	70,000	2,445,404	その他管理費	638,876	1,000,000	554,874
事業収入	6,155,685	8,530,000	4,450,308	収支計	1,073,865	106,600	4,899,150
奨学金事業収入	5,134,544	7,294,000	5,889,593	奨学金事業費	5,668,405	9,479,600	7,297,581
寄付金収入	3,939,213	5,434,000	5,355,585	直接事業費	2,870,648	5,543,600	4,360,808
助成金収入	870,000	1,050,000	400,000	人件費	2,239,541	3,336,000	2,451,432
委託金収入	0	0		その他管理費	558,216	600,000	485,341
事業収入	325,331	810,000	134,008	収支計	-533,861	-2,185,600	-1,407,988
ミャンマー事業収入	89,214,807	93,757,000	93,395,127	ミャンマー事業費	83,428,820	121,777,204	86,331,126
寄付金収入	3,905,801	5,300,000	12,454,056	直接事業費	73,413,956	112,039,204	77,613,757
助成金収入	84,206,499	87,907,000	80,259,427	人件費	9,349,369	8,938,000	8,132,861
委託金収入	211,924	0		その他管理費	665,495	800,000	584,508
事業収入	890,583	550,000	681,644	収支計	5,785,987	-28,020,204	7,064,001
熊本震災支援事業収入			2,399,039	熊本震災支援事業			2,399,039
寄付金収入			2,392,339	直接事業費			2,398,539
事業収入			6,700	その他管理費			500
経常収入合計	110,647,830	120,289,460	122,022,021	経常支出合計	105,830,094	151,180,264	112,656,332
				当期経常収支差額	4,817,736	-30,890,804	9,365,689
				ミャンマー未使用資金戻入益	0	0	48,217,280
				寄付物品売却損	1,252,472		
				ミャンマー未送金資金繰入損	2,028,096	0	17,089,204
				法人税、住民税及び事業税	81,000	81,000	81,000
				当期正味財産増減額	1,456,168	-30,971,804	40,493,765
				前期繰越正味財産額	43,306,517	44,762,685	44,762,685
				次期繰越正味財産額	44,762,685	13,790,881	85,256,450

5 期 連 続 損 益 比 較 表

事業	項目	H24/4～H25/3 24(2012)年度 第11期	H25/4～H26/3 25(2013)年度 第12期	H26/4～H27/3 26(2014)年度 第13期	H27/4～H28/3 27(2015)年度 第14期	H28/4～H29/3 28(2016)年度 第15期
管理部門	会費収入	3,198,000	3,192,480	3,264,000	3,174,000	3,277,000
	寄付金収入	4,155,652	1,608,543	1,192,227	893,379	1,777,195
	雑収入	39,810	779	4,037	1,784	4,570
	【収 入 計】	7,393,462	4,801,802	4,460,264	4,069,163	5,058,765
	直接事業費	0	0	547,385	0	0
	人件費	5,628,323	5,752,909	3,486,677	3,264,525	4,973,075
	その他管理費	1,889,126	1,761,309	1,315,101	2,312,893	1,275,164
	【支 出 計】	7,517,449	7,514,218	5,349,163	5,577,418	6,248,239
	【収 支 差 額】	-123,987	-2,712,416	-888,899	-1,508,255	-1,189,474
国内事業	寄付金収入		110,100	607,979	424,250	6,511,400
	補助・助成金収入		1,100,000	1,874,820	2,059,963	1,872,385
	委託金収入	2,102,812	2,090,696	5,664,861	3,589,418	2,445,404
	事業収入	4,914,368	6,669,662	4,633,865	6,155,685	4,450,308
	【収 入 計】	7,017,180	9,970,458	12,781,525	12,229,316	15,279,497
	国内事業	2,968,651	5,967,662	6,230,470	7,662,081	7,028,325
	人件費	5,094,748	4,910,233	3,052,706	2,854,494	2,797,148
	その他管理費	905,240	1,189,549	973,821	638,876	554,874
	【支 出 計】	8,968,639	12,067,444	10,256,997	11,155,451	10,380,347
	【収 支 差 額】	-1,951,459	-2,096,986	2,524,528	1,073,865	4,899,150
奨学金事業	寄付金収入	2,928,640	9,287,843	3,892,489	3,939,213	5,355,585
	補助・助成金収入	800,000	200,000	780,000	870,000	400,000
	事業収入	942,075	363,059	646,192	325,331	134,008
	【収 入 計】	4,670,715	9,850,902	5,318,681	5,134,544	5,889,593
	奨学金事業費	2,985,910	7,743,343	4,729,790	2,870,648	4,360,808
	人件費	2,455,067	2,034,270	2,246,669	2,239,541	2,451,432
	その他の管理費	458,916	555,570	499,513	558,216	485,341
	【支 出 計】	5,899,893	10,333,183	7,475,972	5,668,405	7,297,581
	【収 支 差 額】	-1,229,178	-482,281	-2,157,291	-533,861	-1,407,988
ミャンマー事業	寄付金収入	3,211,007	4,765,358	2,084,682	3,905,801	12,454,056
	補助・助成金収入	22,673,170	68,436,343	45,567,965	84,206,499	80,259,427
	委託事業	0	17,248,807	13,571,226	211,924	0
	事業収入	1,729,000	564,738	784,420	890,583	681,644
	雑収入	564	0	0	0	0
	【収 入 計】	27,613,741	91,015,246	62,008,293	89,214,807	93,395,127
	ミャンマー事業支出	20,584,200	71,029,968	46,054,151	73,413,956	77,613,757
	人件費	6,983,132	7,190,074	9,409,811	9,349,369	8,132,861
	その他の管理費	653,734	829,746	1,219,116	665,495	584,508
	【支 出 計】	30,824,961	79,049,788	56,683,078	83,428,820	86,331,126
	【収 支 差 額】	-3,211,220	11,965,458	5,325,215	5,785,987	7,064,001
東日本大震災支援	寄付金収入	2,206,150	569,736	0	0	
	補助・助成金収入	5,000,000	108,268	0	0	
	事業収入	615	51,500	0	0	
	【収 入 計】	7,206,765	729,504	0	0	
	直接事業費	3,397,055	2,128,586	0	0	
	人件費	2,639,267	0	0	0	
	その他の管理費	300,510	51,723	0	0	
	【支 出 計】	6,336,832	2,180,309	0	0	
	【収 支 差 額】	869,933	-1,450,805	0	0	0
熊本震災支援	寄付金収入					2,392,339
	事業収入					6,700
	【収 入 計】					2,399,039
	直接事業費					2,398,539
	その他の管理費					500
	【支 出 計】					2,399,039
	【収 支 差 額】					0
経常収入合計		53,901,863	116,367,912	84,568,763	110,647,830	122,022,021
経常支出合計		59,547,774	111,144,942	79,765,210	105,830,094	112,656,332
経常収支差額		-5,645,911	5,222,970	4,803,553	4,817,736	9,365,689
当期計上増減額		7,552,486	24,543,779	-4,724,066	-3,361,568	40,493,765
繰越収支差額		11,553,706	13,460,281	43,227,030	43,306,517	44,762,685
次期繰越収支差額		13,460,281	43,227,030	43,306,517	44,762,685	85,256,450

**特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(ドル)貸借対照表**
2017年3月31日現在

単位:US ドル

科目名	前期末残高	当期末残高	科目名	前期末残高	当期末残高
現金	95,273	159,042	前受金	17,984	37,255
銀行預金	203,809	99,508	仮受金	281,098	226,304
現金預金合計	299,082	258,550	流動負債合計	299,082	263,559
未収金	0	5,009	固定負債合計	0	0
流動資産合計	299,082	263,559	負債合計	299,082	263,559
固定資産合計	0	0	正味財産	0	0
資産合計	299,082	263,559	負債・正味財産	299,082	263,559

ミャンマー(ドル)収支計算書

自2016年4月1日 至2017年3月31日

単位:US ドル

【経常収入の部】		【経常支出の部】	
科目名	残高	科目名	残高
本部勘定収入	103,100	事業費	102,902
外務省NGO連携	80,982	外務省NGO連携	80,982
その他の事業	17,125	スタディツアー	4,819
スタディツアー	4,993	GEERCA	5,016
		HITACHI	5,124
		Social Buisness	26
		その他の事業	6,935
		管理費	198
経常収入合計	103,100	経常支出合計	103,100
		経常収支差額	0
		繰越収支差額	0
		次期繰越収支差額	0

**特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(チャット)貸借対照表**
平成29年(2017年)3月31日現在

単位:ミャンマー チャット

科目名	前期末残高	当期末残高	科目名	前期末残高	当期末残高
現金	2,031,542	13,194,919	預り金	1,175,350	1,175,350
普通預金	872,400	195,125,005	仮受金	2,057,600	2,057,600
現金預金合計	2,903,942	208,319,924	小規模銀行基金	360,000	360,000
立替金	3,157,600	650,000	流動負債合計	3,592,950	3,592,950
短期貸付金	5,698,000	20,128,000	固定負債合計	0	0
仮払金	1,765,000	870,000	負債合計	3,592,950	3,592,950
流動資産合計	13,524,542	229,967,924	正味財産	43,127,092	259,570,474
保証金	430,500	430,500			
長期貸付金	32,765,000	32,765,000			
固定資産合計	33,195,500	33,195,500			
資産合計	46,720,042	263,163,424	負債・正味財産	46,720,042	263,163,424

ミャンマー(チャット)収支計算書

自平成28年(2016年)4月1日 至平成29年(2017年)3月31日

単位:ミャンマー チャット

【経常収入の部】		【経常支出の部】	
科目名	残高	科目名	残高
本部勘定収入	925,535,614	事業費	699,013,398
ナウンカセンター	4,185,648	ナウンカセンター	4,185,000
外務省NGO連携無償	764,737,001	外務省NGO連携無償	554,897,956
ボランティア貯金	5,719,949	ボランティア貯金	5,720,565
御厨プロジェクト	15,008,486	御厨プロジェクト	15,009,000
カントー プロジェクト	1,072,978	NALAPO	3,466,500
フランソロピー Pro	2,037,717	各種ツアー	423,250
坂井プロジェクト	7,939,549	カントー プロジェクト	1,073,400
八坂プロジェクト	11,999,937	フランソロピー Pro	2,038,000
ライオンズナウンサンPro	21,366,339	坂井プロジェクト	7,940,000
積水ハウス Pro	16,480,349	八坂プロジェクト	12,000,000
大阪コミュニティPro	9,080,592	ライオンズナウンサンPro	21,366,200
緑の基金	3,467,398	積水ハウス Pro	16,480,000
管理費	19,930,617	大阪コミュニティPro	9,080,000
GEERCA	13,854,994	GEERCA	13,854,800
タンボジ奨学金	9,217,138	緑の基金	990,800
パオ奨学金	7,222,337	タンボジ奨学金	9,457,100
アジア生協	6,957,950	ナッターミ	1,815,700
ソーシャルビジネス	2,934,141	グリーンヒル	711,100
その他のプロジェクト	2,322,494	パオ奨学金	7,223,000
物販収入(テキスト等)	66,000	アジア生協	6,957,500
事業収入	3,787,405	ソーシャルビジネス	2,934,800
ツアー受け入れ	365,900	Hitachi	1,197,499
ヤンゴン野菜販売	811,463	その他の事業	191,228
オーガニックグループ	1,781,542	管理費	19,931,073
タンボジ奨学金	240,000	給料手当	15,202,000
Hitachi	506,000	福利厚生費	300,000
その他の収入	82,500	会議費	207,745
寄付金収入	2,141,000	旅費交通費	1,405,050
雑収入	3,857,834	補助員出張費	2,443,400
		通信費	20,000
		事務消耗品費	-99,400
		水道光熱費	17,500
		車両借上費	424,000
		図書新聞購入費	1,400
		雑費	9,378
経常収入合計	935,387,853	経常支出合計	718,944,471

財産目録

2017年 3月31日現在

単位:USドル

科目	金額
【資産の部】	
流動資産	
現金 預金	258,550
現金 現金手許有高	159,042
普通預金 MFTB	4,607
普通預金 KBZ	94,901
未収金	5,009
郵貯ボランティア貯金	5,009
資産合計	263,559
【負債の部】	
流動負債	
前受金	37,255
事業手数料	16,981
ツアー手数料	18,384
寄付金収入	1,890
仮受金	226,304
タンボジセンター	10,018
外務省NGO連携無償資金	135,786
御厨基金	917
坂井邦夫基金	82
その他の事業資金	18,574
スタディツアー	1,413
NALAPO	522
管理費	6,703
GEERCA	9,852
ファンドレイジング	546
オーガニックグループ	83
TGB里親	23,055
Wa U	4,227
PaO Scholarshi	3,208
緊急支援	5,017
Asia Seikyo	3,415
Hitachi	2,886
流動負債合計	263,559
負債合計	263,559
正味財産	0

財産目録

2017年 3月31日現在

単位:チャット

科目	金額
【資産の部】	
現金 預金	208,319,924
現金 現金手許有高	13,194,919
普通預金	195,125,005
一般	176,551
特別	494,992
タウンジー	660,392
タウンジー4	193,793,070
立替金	650,000
短期貸付金	20,128,000
Naung Sin SDF	200,000
Management Cos	19,928,000
仮払金	870,000
保証金	430,500
長期貸付金	32,765,000
養豚銀行	8,035,000
水牛銀行	17,500,000
ニンニク銀行	4,600,000
ナウンシン入植貸付金	1,130,000
その他の貸付金	15,000,000
その他の固定資産合計	34,295,500
資産合計	263,163,424
預り金	1,175,350
仮受金	2,057,600
養豚銀行	1,300,000
ナウンシン農業支援貸付	757,600
小規模銀行基金	360,000
流動負債合計	3,662,950
負債合計	3,662,950
正味財産	259,570,474
負債・正味財産	263,163,424

監 査 報 告 書

平成 29 年 5 月 11 日

特定非営利活動法人地球市民の会
理事長 山口 久臣 殿

監事 田 中 進 

私は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、2016 年度（2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日まで）の特定非営利活動法人地球市民の会の業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。

監査の方法は、重要な会議の議事録その他の重要資料を閲覧するほか理事から事業の報告を聴取し、また財産の状況については証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事実はなく、2016 年度の特定非営利活動法人地球市民の会の財産の状況は適正なものと認められます。

以 上

事業計画及び予算

目 次

◆ 活動方針、活動目標および今後の方向性	-P25
◆ 平成 29 年度（2017 年度）事業計画	-P26
◆ 平成 29 年度（2017 年度）予算	-P27
◆ 平成 29 年度（2017 年度）予算明細	-P28

特定非営利活動法人 地球市民の会
佐賀県佐賀市高木町 3-10

地球市民運動の拡大を目指します

～地球市民の会の活動に関わる方々のネットワークを広げていきます～

地球市民運動とは、「人、社会、自然の相互依存を十分認識し、すべてのいのちを慈しみ、強く、優しく、豊かに、美しく育てること」と定義しています。

これまでの経験を活かして、新たな活動地域への広がりや、他団体との協働も含めて活動を展開します。これまで関わりがなかった方々にも会のことを知っていただき、参画いただくことで、地球市民運動を広げていきます。



事業別項目

① 国内事業:

1) 中山間地域づくり事業

・都市と農山村の体験交流事業の充実

佐賀市富士町での苜木もめんやふるさとステイ、オリーブの森事業を今年度も継続して地域の方々と行います。交流を通して、農山村地域である富士町のファンになってもらうよう、交流人口の拡大を目指します。

2) 熊本地震復興支援事業

・他団体との連携・協働での支援の継続

佐賀県内のCSOが中心となってネットワークを組んで支援活動をしている「佐賀から元気を送ろうキャンペーン」の中で他団体と連携した活動を行っています。直接的な支援活動だけでなく、今後、佐賀県内での災害に備えた行政や企業との連携協定を見据えた活動や、実際の訓練および災害教育、防災教育の展開なども行っていきます。

3) ゲストハウスを活用した国際交流の促進

佐賀駅近くにできたゲストハウスと連携して、国際交流のイベント等を企画し、外国人との交流の促進を目指します。



② 海外事業:

1) ミャンマー事業

・シャン州でのこれまでの事業ノウハウを活用した農村開発事業の充実

2003年より継続してきたシャン州事業の国内移転として、新たにミャンマーチン州他での新規事業の検討を行います。まだまだミャンマーには開発が遅れ取り残された地域があります。そういった地域で、SDGs達成のための活動を行っています。

・ソーシャルビジネス化、コミュニティビジネス化による収益事業化

シャン州での事業については、収益事業の育成を目指し、企業との連携をすすめ、モリンガや農産物加工品の品質の向上や販売に力をいれるほか、循環型農業による農産物の販売店である「グリーンヒル」の充実により、農家の収入向上を目指します。



2) 奨学金事業／タイ・スリランカ

・さとおやさんと奨学生の交流の充実

ミャンマーの子どもたちの様子を知ってもらうため、手紙のやりとりをできる回数を増やせるように、メッセージカードを導入します。

・タイ人留学生キャリア教育プログラムによる柳川高校生のインターン事業での受け入れ

寮が夏休みに入るタイ人高校生が、日本で生活すること・働くことを学び、将来の日タイの交流の懸け橋となるため、企業でインターンをしながらホームステイ受け入れ事業を本年度から始めます。

・タイ南部における新規開発プロジェクトの企画・立案

国としては発展したタイですが、農村部には依然として支援が行き届いていない地域があります。日本とタイの社会問題を同時に解決できるような新規開発プロジェクトの企画・立案を行います。



③ 寄付金等による資金調達:

ふるさと納税を活用した資金調達を行っています。また、当会だけでなく、県内のCSOと連携して、佐賀全体として寄付額が向上することを目指します。

※アイコンは、2015年に国連総会で採択された、2030年に向けて世界が取り組む「持続可能な開発目標(SDGs)」のゴールを表しています。

平成29年度事業計画書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

特定非営利活動法人 地球市民の会

事業内容	実施時期	実施内容
1.本部事業		
①講師派遣事業	通期	学校・各種団体への講師派遣
②連携団体&地域パートナー事業	通期	新規事業の企画開発
2.国内地域づくり事業		
①中山間地地域づくり事業		
佐賀市中山間地地域づくり事業	通期	苅木もめん
オリーブの森プロジェクト	通期	吉野ヶ里町でのオリーブ事業
②子ども育成事業		
ふるさとステイ	8月	小学生を対象にした夏休みキャンプ事業
③国際交流事業		
日中韓大学生交流事業(TOMODACHI 100プロジェクト)	1月	中国人・韓国人大学生を招聘し、佐賀県全体でのホームステイ事業
	通期	行政からの委託事業の実施
④協働事業	通期	佐賀から元気を送ろうキャンペーンと連携(震災支援)
	通期	ゲストハウス葉隠と事業連携
3.奨学金/タイ・スリランカ事業		
①奨学金	通期	スリランカ・ミャンマーの中学・高校生への奨学金支給継続 新規学生募集を停止したタイ奨学生へのフォロー継続
②チャリティショップ	通期	チャリティショップの運営 ボランティアデーの毎月2回開催、ボランティアの拡大
③スタディツアー実施	12月	タイ・スリランカ奨学金支援地へのスタディツアー
④タイ事業		
タイ人留学生キャリア教育プロジェクト	8月、1月	柳川高校へ留学するタイ人留学生の長期休暇におけるインターン・ホームステイ受け入れ
タイ南部の子どもの貧困撲滅プロジェクト	12月	タイ南部ナコーンシータンマラート県における開発プロジェクト調査
5.ミャンマー事業		
①農業畜産支援事業		
農業組合の組織と運営	通年	タンボジ、ナウンカ、セレーの3箇所にてモデル組合を組織 生産者と消費者をつなぐ販売体制の構築(POSシステムの導入による生産者の意欲向上と販売活性化)
タンボジ農業畜産研修センター	通年	グリーンヒルとの連携、収入向上(養鶏事業の拡大) 企業との連携によるハトムギ加工事業の実施
ナウンカ村落開発センター	通年	農民対象の短期～長期研修の実施 モデルファームの充実、グリーンヒルとの連携、収入向上
②外務省NGO連携無償		
シーサイン農業灌漑整備事業(外務省N連)	～9月	シーサイン地域での農業用水の配水事業
ピンラウン飲料水の給水事業(外務省N連)	9月～	ピンラウン地域での飲料水の配水事業
③教育支援・人材育成事業		
タンボジ寮の運営、高校生支援	通年	高校生16名の支援・農村リーダーの育成
学校建設・保育園建設	通年	ピンラウン地域での保育園建設1舎
④環境保全事業		
緑の募金 緑化事業	～6月	ポーミヤ村におけるアグロフォレストリー技術の普及と実践
環境保全事業(モリンガプロジェクト)	通年	モリンガを活用した循環型農村づくり
インレー湖の環境汚染調査	通年	インレー湖の環境悪化要因の分析(東洋大学との協働事業)
⑤交流事業	9月、3月	TPAスタディツアー実施、鹿児島大学、佐賀大学受入など
⑥新規事業/ソーシャルビジネス開発		
新規事業地の調査	通年	ミャンマーシャン州内の別地域やチン州などの調査

特定非営利活動法人地球市民の会
平成29年(2017年)度 活動予算書

自 平成29年(2017年)4月1日 至平成30年(2018年)3月31日

【経常収入の部】	28年度決算	29年度予算	【経常支出の部】	28年度決算	29年度予算
①本部収入	5,058,765	17,094,042	①国内管理費	6,248,239	6,980,800
会費収入	3,277,000	3,300,000	直接事業費		900,000
寄附金収入	1,777,195	1,200,000	人件費	4,973,075	2,980,800
その他収入	4,570	100,000	その他管理費	1,275,164	3,100,000
前期繰越正味財産額		12,494,042	収支計	-1,189,474	10,113,242
②国内事業収入	15,279,497	13,235,000	②国内事業費	10,380,347	11,651,200
寄附金収入	6,511,400	5,000,000	直接事業費	7,028,325	6,960,000
補助金・助成金等収入	1,872,385	700,000	人件費	2,797,148	3,691,200
委託金収入	2,445,404	3,085,000	その他管理費	554,874	1,000,000
事業収入	4,450,308	4,450,000			
前期繰越正味財産額		0	収支計	4,899,150	1,583,800
③奨学金事業収入	5,889,593	18,858,052	③奨学金事業費	7,297,581	15,232,076
寄付金収入	5,355,585	14,938,000	直接事業費	4,360,808	10,332,076
助成金収入	400,000		人件費	2,451,432	4,100,000
委託金収入			その他管理費	485,341	800,000
事業収入	134,008	1,720,000			
前期繰越正味財産額		2,200,052	収支計	-1,407,988	3,625,976
④ミャンマー事業収入	93,395,127	165,022,356	④ミャンマー事業費	86,331,126	160,733,991
寄付金収入	12,454,056	1,500,000	直接事業費	77,613,757	147,492,991
助成金収入	80,259,427	92,410,000	人件費	8,132,861	12,441,000
委託金収入		0	その他管理費	584,508	800,000
事業収入	681,644	550,000			
前期繰越正味財産額		70,562,356	収支計	7,064,001	4,288,365
熊本震災支援事業収入	2,399,039		熊本震災支援事業	2,399,039	
寄付金収入	2,392,339		直接事業費	2,398,539	
事業収入	6,700		その他管理費	500	
前期繰越正味財産額			収支計	0	
経常収入合計	122,022,021	214,209,450	経常支出合計	112,656,332	194,598,067
			当期経常収支差額	9,365,689	19,611,383
			ミャンマー未使用資金戻入益	48,217,280	
			ミャンマー未使用資金繰入損	17,089,204	
			寄付物品売却損	0	0
			法人税、住民税及び事業税	81,000	81,000
			当期正味財産増減額	40,493,765	19,530,383
			前期繰越正味財産額	44,762,685	
			次期繰越正味財産額	85,256,450	19,530,383

平成29年度(2017年度)予算明細

本部	収入合計	17,094,042	支出合計	6,980,800
	①会費収入	3,300,000	①事業費	900,000
	②寄付金収入	1,200,000	②人件費	2,980,800
	マンスリーサポーター	1,200,000	③共通管理費	3,100,000
	③その他の収入	100,000		
	④前期繰越金	12,494,042	収支差額	10,113,242
国内事業	収入合計	13,235,000	支出合計	11,651,200
	①寄付金収入	5,000,000	①直接事業費	6,960,000
	ふるさと納税	5,000,000	TOMODACHI 100 プロジェクト	2,000,000
	②助成金収入	700,000	ふるさとステイ	1,100,000
	オリーブの森事業	700,000	オリーブの森事業	595,000
	③委託金収入	3,085,000	子どもの見守り事業(佐賀市)	1,015,000
	佐賀県協力隊を育てる会事務局委託費	50,000	ふるさと納税事務管理費等	2,250,000
	さがグリーンツーリズム研究会事務局委託費	20,000	②直接人件費	3,691,200
	子どもの見守り事業(佐賀市)	301,500	③共通管理費	1,000,000
	④自主事業収入	4,450,000		
	TOMODACHI 100 プロジェクト	2,550,000		
	ふるさとステイ	1,900,000	収支差額	1,583,800
奨学金事業	収入合計	18,858,052	支出合計	15,232,076
	①寄付金収入	14,938,000	①直接事業費	10,332,076
	タイ奨学金(ノンハーン)	180,000	タイ奨学金(ノンハーン)	108,000
	タイ奨学金(大学生)	480,000	タイ奨学金(大学生)	288,000
	スリランカ奨学金	480,000	スリランカ奨学金	240,000
	ミャンマータンボジ奨学金	1,920,000	ミャンマータンボジ奨学金	1,152,000
	ミャンマー・シャン奨学金	1,728,000	ミャンマー奨学金	1,036,800
	スリランカ寄付金	100,000	タイ現地調整費	1,099,000
	教育基金寄付	50,000	スリランカ現地調整費	120,000
	ふるさと納税	10,000,000	ミャンマー奨学金現地調整費	556,800
	②助成金収入	0	タイツアー	601,476
	③自主事業収入	1,720,000	スリランカツアー	630,000
	タイツアー	630,000	ふるさと納税事務管理費等	4,500,000
	スリランカツアー	840,000		
	チャリティショップ売り上げ	200,000	②直接人件費	4,100,000
	物販	50,000	共通管理費	800,000
	④前期繰越金	2,200,052	収支差額	3,625,976
ミャンマー事業	収入合計	165,022,356	支出合計	160,733,991
	①寄付金収入	1,500,000	①直接事業費	147,492,991
	保育園建設	1,500,000	シーサイン農業配水事業(N連)	12,000,000
	②助成金収入	92,410,000	ピンラウン給水事業(N連)	75,000,000
	外務省NGO連携無償資金協力(予定)	89,000,000	学校・保育園建設	2,465,000
	緑の募金(2016年度精算)	700,000	インレー湖環境保全	1,928,000
	地球環境基金(環境保全)	2,000,000	環境保全事業	6,747,711
	KDDI	710,000	農業組合支援	710,000
	三井物産環境基金	2,328,000	スタディツアー	425,000
	③委託金収入	0	ミャンマー未使用資金	48,217,280
	④自主事業収入	550,000	②直接人件費	12,441,000
	スタディツアー	500,000		
	フェアトレード商品販売	50,000	共通管理費	800,000
	⑤前期繰越金	70,562,356	収支差額	4,288,365
全体	収入合計	214,209,450	支出合計	194,598,067

特定非営利活動法人地球市民の会 平成29年度役員

名誉職

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
永久名誉会長	古賀 武夫		
名誉会長	山口 祥義	佐賀県	知事
名誉副会長	秀島 敏行	佐賀市	市長

顧問

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
顧問	井戸 敏三	兵庫県	知事
顧問	稲田 繁生	学校法人 伊万里学園/敬徳高校	理事長
顧問	今村 雅弘	衆議院	議員
顧問	井本 勇	学校法人佐賀清和学園	理事長
顧問	大草 秀幸	企画工房リプロ	代表
顧問	大串 博志	衆議院	議員
顧問	小原 健史	(株)和多屋別荘	代表取締役
顧問	小山 高生	脚本家/大阪芸術大学	教授
顧問	坂井 学	衆議院	議員
顧問	薩摩 和男	(株)美々卯	社長
顧問	三遊亭 歌之介	落語家	
顧問	上甲 晃	志ネットワーク	代表
顧問	中尾 清一郎	(株)佐賀新聞社	社長
顧問	古川 康	衆議院	議員
顧問	宮崎 耕治	国立大学法人佐賀大学	学長
顧問	原口 一博	衆議院	議員
顧問	平湯 慎介	平湯コーポレーション	代表取締役社長
顧問	福岡 資麿	参議院	議員
顧問	マリ クリスティーヌ	有限会社 エムキューブインターナショナル	
顧問	牟田 清敬	牟田法律事務所	弁護士
顧問	山下 雄平	参議院	議員
顧問	鷺崎 和徳	佐賀県地域交流部国際課	課長

新任

評議員

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
評議員	青柳 達也	株式会社 LbE Japan	
評議員	有岡 大介	(株)STSライフプロモーション	部次長
評議員	大島 隆	和食処おおしま	代表取締役
評議員	小松 敏正	小松商店 金属部	専務
評議員	副島 正幸	潮音寺	住職
評議員	高橋 良輔	青山学院大学 地球社会共生学部	教授
評議員	田島 広一	田島興産株式会社	代表取締役
評議員	平野 喜幸	NPO法人れんげ国際ボランティア会	ミャンマープロジェクトディレクター
評議員	深川 千幹	佐賀市立思斉館 中学部	
評議員	藤 雅仁	株式会社七浦/道の駅鹿島	統括部長／事務局長
評議員	前田 英彦	長崎県松浦市役所	
評議員	満岡 聡	満岡内科消化器科医院	院長
評議員	峰 悦男	峰公認会計士事務所	代表
評議員	宮地 大治	(株)佐賀電算センター	代表取締役社長
評議員	百生 詩緒子	独立行政法人 国際協力機構	専門家(タイ)

特定非営利活動法人地球市民の会 平成29年度役員

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
会長	佐藤 昭二	一般社団法人 ふる里再生協会	専務理事
副会長	多良 淳二	一般財団法人 佐賀銀行文化財団	事務局長
副会長	山下 雄司	(株)サガプリンティング	専務取締役
副会長	草場 一壽	今心工房	陶彩画家

理事

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
理事長	山口 久臣	一般社団法人アイ・オー・イー	代表理事
副理事長	大野 博之	一般社団法人 ユバーサル人材開発研究所	代表理事
副理事長	稲富 正人	公益財団法人佐賀県国際交流協会	専務理事
理事	五十嵐 勉	国立大学法人 佐賀大学 全学教育機構	教授
理事	古賀 大之	一般社団法人 和スポーツクラブさが	理事長
理事	柴田 京子	認定NPO法人地球市民の会	ミャンマー代表
理事(兼任)	多良 淳二	一般財団法人 佐賀銀行文化財団	事務局長
理事	田中 啓之	佐賀県税事務所納税課	主査
新任 理事	鶴田 さゆり	佐賀県地域交流部国際課	副主査
理事	土井 敏弘	みどりや茶舗	代表
理事	成尾 雅貴	熊本県東京事務所	次長
理事	西村 一守	Produce Office Nishimura PON	代表
理事	西村 尚子	ステンドグラス工房 グラスパレット	主宰
理事	増田 誠司	(株)増屋	代表取締役
理事	八田 康博	(有)八田工作所	代表取締役
理事(兼任)	山下 雄司	(株)サガプリンティング	専務取締役
監事	田中 進	(株)佐賀電算センター	代表取締役会長
新任 監事	小原 嘉文	嬉野温泉観光(株)	代表取締役社長

会長・副会長の役割 地球市民の会の理念や活動について対外的に伝える代表です。

理事の役割 理事は会の経営に携わり、意思決定とその責任を有します。
理事長は、経営権を持ち、活動に対する指揮権と責任を有します。
副理事長は理事長を補佐します。
専務理事は理事会の決定実施するために事務局を統括します。

監査の役割 活動内容が理念や社会的規範から離れていないかなどの問題がないかを、
また、財務会計状況に問題がないかを監査します。

会員総会の役割 会の最高意思決定機関です。理念や目的を達成するための各種事業に対して是非の判断しま
総会及び会長、副会長に対して専門的な立場から指導又は助言等を行います。
理事会の経営や事業実施に対して専門的な立場から指導又は助言等を行います。

平成28年度をもって退任される役員

長期にわたり、地球市民の会を支えていただきありがとうございました。

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
監事	古賀 和夫	有限会社 ニューポーン新古賀	代表取締役
顧問	豊田 泰光	野球評論家	

地球市民の会 33 年の歴史

- 1973 年 「佐賀フランス研究会」設立(地球市民の会の前身)
- 1980 年 「古賀英語道場・佐賀日仏文化会館」設立
- 1983年 「地球市民の会」設立
- 1986年 第 1 回小さな地球計画開始
- 1987年 日タイ協力事業開始
- 1988年 日韓交流プログラム「かちがらす計画」開始
- 1990 年 地球市民奨学金開始
- 1992 年 人間の持つべき文明「テラアピール」発表
- 1993年 地球共感シンポジウム、アジア太平洋協力会議 実施
- 1995 年 地球市民運動全国会議実施、スリランカ協力事業開始
- 2002 年 NPO 法人格取得
- 2003年 ミャンマープロジェクト開始
- 2008年 創始者 古賀武夫 逝去
- 2009 年 人間の持つべき文明 2009「テラアピール 2009」提唱
- 2009年 佐賀市中山間地地域づくり事業開始
- 2010年 国税庁より認定 NPO として認定
- 2011年 ASC2008 認証
- 2011 年 東日本大震災復興支援事業開始
- 2013 年 創立 30 周年記念・北澤氏講演会
- 2015 年 ASC2012 認証
- 2016 年 平成 28 年熊本地震支援事業開始



タイ・ノンハーン校の奨学生

地球市民の会 主な褒章

- 1988 年 サントリー地域文化賞
- 1989 年 国際交流基金地域交流振興賞
- 1994 年 佐賀県県政功労者知事賞
- 1996 年 自治大臣表彰
- 1996 年 厚生大臣感謝状
- 2000年 外務大臣表彰
- 2003年 にしぎんアジア貢献賞
- 2006年 地球倫理推進賞
- 2006 年 文部科学大臣奨励賞
- 2017 年 かめのり賞
- 2017 年 社会貢献支援財団賞



スリランカ奨学生招聘 さとおやさんと

地球市民の会組織図 2017 年度

